

第 2 回	<p>テーマ：訪問看護の記録（1 章）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護で使用される書類と記録 ・看護過程に用いる『総合的機能を構成する 4 領域』の解説
第 3 回	<p>テーマ：在宅看護過程の情報収集（1 章）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護に必要な情報の種類と範囲
第 4 回	<p>テーマ：在宅看護過程の情報収集（ロールプレイ）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅看護に必要な情報を得る
第 5 回	<p>テーマ：在宅看護過程のアセスメント（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『総合的機能を構成する 4 領域』を使って情報を分析する ・考えられる看護問題を抽出する
第 6 回	<p>テーマ：在宅看護過程の課題と目標の設定（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望を踏まえた援助の方針/課題と優先順位 ・目標設定の視点
第 7 回	<p>テーマ：在宅看護過程の包括計画/看護計画（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括計画の考え方 ・包括計画と看護計画の立案
第 8 回	<p>テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例に必要な看護技術を抽出し、手順を調べる
第 9 回	<p>テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の個別性を考慮した看護技術の手順と根拠を考える ・個別の環境、限られた物品での看護技術の工夫
第 10 回	<p>テーマ：在宅療養の場での看護技術の提供（ロールプレイ）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護技術の提供
第 11 回	<p>テーマ：在宅療養の場で展開する看護技術（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護技術を振り返り、個別性を考える
第 12 回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論（ロールプレイ）（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護過程と臨床推論の関係 ・訪問時の療養者の状態観察
第 13 回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養者の状態観察から、予定していた看護提供が可能かどうかを推論する
第 14 回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論（石井、吉原、鹿毛、井手、佐藤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養者の状態に合わせた看護技術の提供方法を見直す
第 15 回	<p>テーマ：訪問看護における臨床推論（石井）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養生活のリスクと臨機応変に対応する意義を考える
テキスト	地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>地域・在宅看護① 地域療養を支えるケア メディカ出版</p> <p>その他、出版授業内で、適宜、紹介します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	提出ファイルは、後の講義中で総評し、返却します。

学生へのメ
ッセージ・
コメント

15 回の授業で、訪問看護のプロセス（情報収集→看護計画の立案→看護計画に沿った看護技術の提供→療養者の状況を判断する臨床推論→臨機応変に対応した技術提供）を学びます。病院の看護との共通点、違いを考えていきましょう。

グループワークと個人ワークを組み合わせで実施します。在宅看護の知識・技術に加え、グループに協力する行動、リーダーシップ、メンバーシップを学び、後期の実習に繋げましょう。

※授業の進行によっては、講義の順番を入れかえることがあります。

